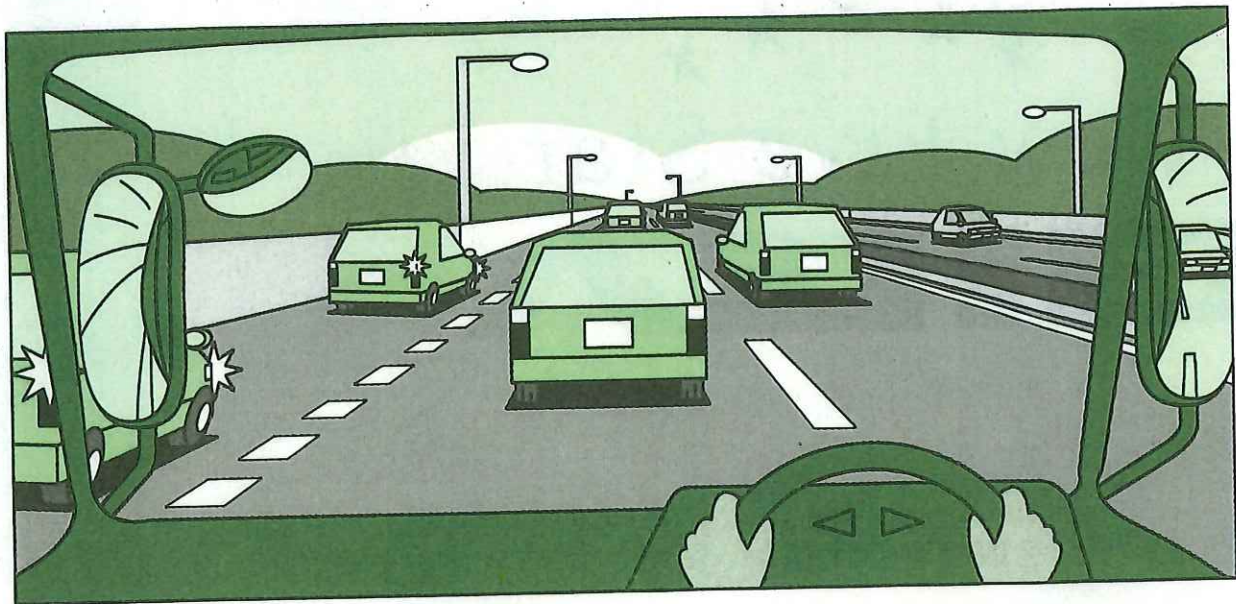


危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

〔第 151 回〕「高速道路の合流地点」

状況

あなたは前車に追従してやや交通量が多い高速道路を走行して、インターチェンジ (IC) の合流地点に差しかかりました。前方には合流しようとする車が複数台見えます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



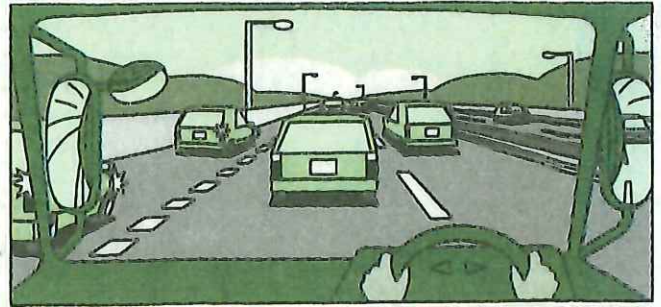
○ ◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

危険予知訓練(KYT)シートの解説

▶ 交通事故防止編

あなたは前車に追従してやや交通量が多い高速道路を走行して、インターチェンジ(IC)の合流地点に差しかかりました。前方には合流しようとする車が複数台見えます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

- ①合流してくる車に気づき減速した前車に追突する危険があります(図1)。
- ②前車を避けようと右に車線変更したところ、後方から走行してきた車と衝突する危険があります(図2)。
- ③前車が右に車線変更し、空いた走行車線に合流してきた2台目の車と衝突する危険があります(図3)。

どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ①追従している前車の前には、合流しようとする車が見えます。「前の車はそのまま進んでいこう。合流する車もそのままスムーズに合流するだろう」と、安易に前車に接近していると、前車が合流車に配慮して減速した場合、追突する危険があります。IC等の合流地点に接近した時は、スピードを落として周囲の状況をしっかり把握しましょう。また追従している時は、前車の減速に備えて車間距離をしっかりとっておきましょう。
- ②右のミラーには、後方から接近してくる車が映っています。減速した前車を避けようとして、右に車線変更すると、後方を走行してきた自動車と衝突する危険があります。慌てた状態でハンドル操作や車線変更をすると、本来行うべき安全確認が疎かになるだけでなく、危険の見落としに繋がります。車線変更をする際は、後方の安全をしっかりと確認してから行いましょう。
- ③交通量の多い高速道路で、前車に続いて合流する場合、なるべく前車に続いてスムーズに合流したいと考えがちです。さらに接近しているのがトラックであれば、「うまく合流させてくれるだろう」と考え、やや強引にでも合流してくることがあります。合流車を見つけた時は、その動静をしっかりと確認するとともに、スムーズに合流できるようまくスピードをコントロールしましょう。合流地点では、様々な車が錯綜するので、細心の注意を払い運転してください。

図1

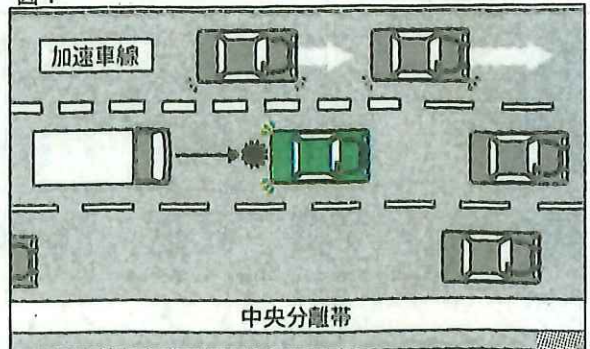


図2

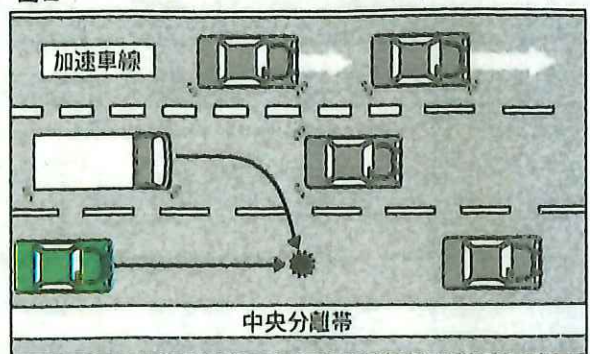
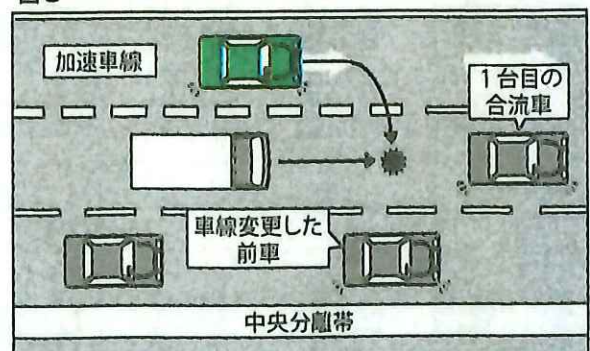


図3



スムーズに合流できるようまくスピードをコントロールしましょう。合流地点では、様々な車が錯綜するので、細心の注意を払い運転してください。